

皆様あけましておめでとうござ  
います。2012年が皆様にとつ  
て良い年になることを願って、今  
年も「ゴトに勝つ」ための情報を  
提供していきたいと思えます。本  
年もよろしくお願い致します。

## 「アグネス・ラム」 モニターでゴト発見 二人組を現行犯逮捕

さて、昨年の初め1月頃は、三  
洋「大海物語スペシャルMTE」  
や「スーパー海物語IN沖縄2M  
TMS」で大当り直撃電磁波ゴト

の被害が全国的に多発していた時  
期でしたが、昨年も押し詰まって  
きた11月末に関東のホールで甘デ  
ジの「大海物語スペシャルwith  
hアグネス・ラム」の大当り直撃  
電磁波ゴトの被害が発生したとの  
情報が入ってきました。

ホールの役職者が定時の防犯カ  
メラのモニターチェックを行なっ  
ていた際に、「大海物語スペシャル  
withアグネス・ラム」に対し  
て壁を作っている不審人物を発見  
しました。しばらく防犯カメラの  
モニターで監視をおこなっていた  
ところ、盤面に腕をかざす行為を

確認しました。1回目の大当り発  
生時に警察へ通報し、2回目に発  
生させた大当り消化終了時に警察  
官が到着し、警察官へ事情を説明  
して二人組のゴト犯は現行犯逮捕  
されました。その後の調べで逮捕  
されたゴトの実行犯から電磁波発  
信機一式が発見されたとのこと。  
不正に引き当てた大当りの出玉は  
約800発でした。

本来うまみ少ないが  
15R大当たりにも  
集中させる可能性

大海物語スペシャル 電磁波発信機



今まで甘デジで大当り直撃電磁  
波ゴトが出なかった理由は、費用  
対効果を考えた時に旨みが少な  
かったからというところだと思  
います。甘デジタイプで多量の出玉を  
窃取するとなると、何度も盤面に  
腕をかざす動作をして電磁波を発  
射またはノイズを受信しなければ  
ならないので、発見されるリス  
クが高くなります。今回は15R大  
当りの直撃ではなかったのですが、  
甘デジでの直撃ゴトの旨みを考  
えた時に、今後は15R大当り直撃電  
磁波ゴトへ進化する可能性がある  
ので注意が必要です。「大海物語  
スペシャルwithアグネス・ラ  
ム」の大当り直撃電磁波ゴトに  
関しては、メーカーから対策部品が

# ゴトに勝つ

## 高石隆一

# 6

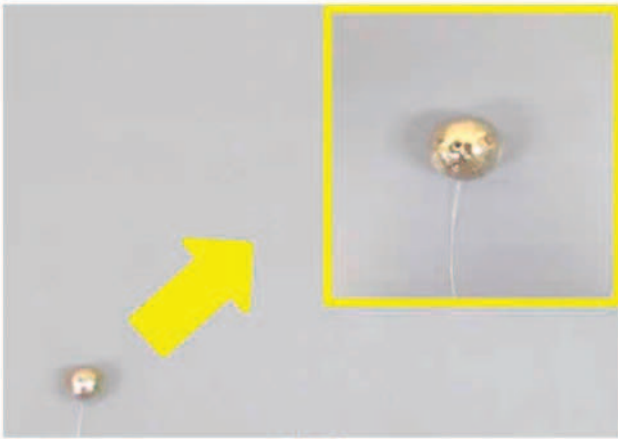
## 糸付き玉で甘デジを狙う データ異常出さない進化



提供されておりますので、早急に  
取り付けるようお願い致します。

## 最近ではセブン機で 過剰入賞させる 二つの手口確認

ゴトの進化という点では、昨年はローテクゴトの「糸付き玉」の進化が気になりました。糸付き玉という、スタートや一般入賞口などのセンサーに糸付き玉を上下させることで、不正にカウントさせる手口を想像する方も多いと思いますが、ここ最近では不正にカウントさせるといふ被害報告はほと



糸付き玉

んどありません。

最近の手口は、主にいわゆるセブン機に使用されており、次の2つの手口が確認されております。

①ワープ入り口付近に糸付き玉を停留させ、打ち出した玉をワープへ誘導し、スタートへ過剰入賞させる。

②一般入賞口付近に糸付き玉を停留させ、打ち出した玉を一般入賞口へ過剰入賞させる。

この2つのうち、①のスタートへ過剰入賞させるパターンが被害の主流となっております。その他、羽根物やサンセイR&D「牙狼」等の特殊なゲーム性を持った機種



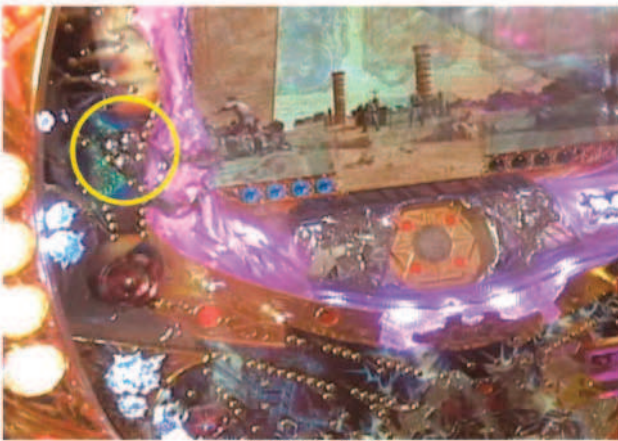
糸付き玉 透明玉

を狙った特別な使用方法も確認されてきて、糸付き玉を狙った位置へ誘導するために磁石を併用する事例も確認されております。

## 一般のお客様の 貸し玉に混ざって 始めて気がつく

また、ホールスタッフや周りのお客様からの発見を避けるために透明な玉を使用した糸付き玉も確認されており、この透明な玉だと盤面上に停留させていてもかなり発見しにくくなります。

この糸付き玉の手口が出始めた



糸付き玉 フドウ

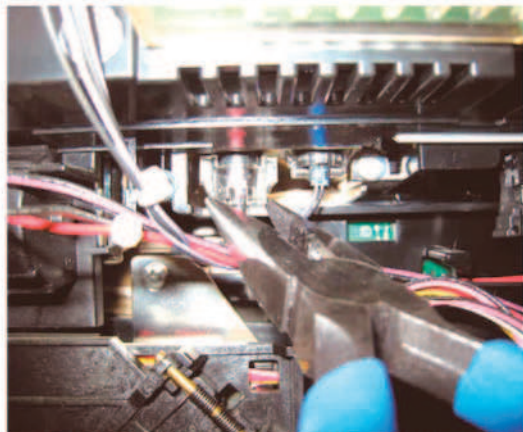
初期の頃は、激しくデータ異常が出まくるくらい大胆にスタートや一般入賞口へ過剰入賞させていたので、被害ホールではデータ異常が頻発してゴトの存在に気が付いて逮捕に至るケースが多かったのですが、ここ最近では特にデータ異常があった訳でもないのに、一般のお客様が玉の貸し出しボタンを押すとパチンコ台の上皿に糸付き玉が出てきたというケースをよく耳にします。データ異常が出ていなかったということで、犯行に失敗した可能性も考えられますが、実際にはこのローテクゴトを行なっていた輩が進化してデータ異常を出さないで上手くゴトを行なった可能性が高いのではないかと考えております。

## 穴あき玉や変形玉 補給詰まらせる それでも異常なし

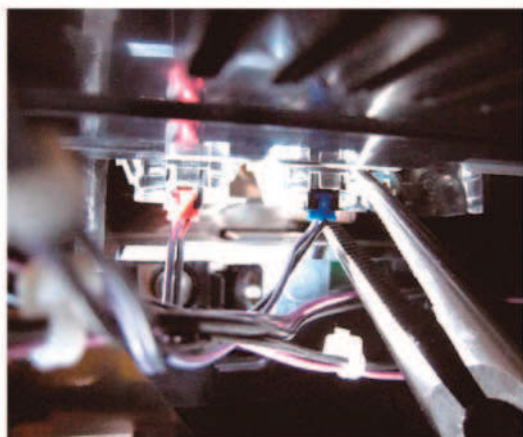
もともとこの糸付き玉は使い捨てタイプです。打ち出された糸付き玉をゴト犯が回収して帰ることはほぼ無理なので、犯行の成否を問わず必ず使用された糸付き玉はお店に残されるものです。ご存知



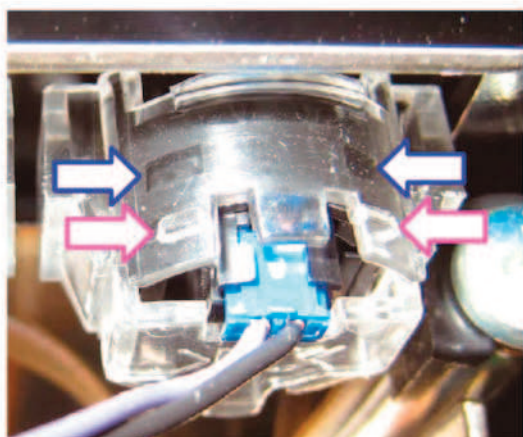
## メーカー対策部品



《取り付け状況(固定具合)の確認》しっかり取り付けられていない場合、ラジオペンチ等で確認すると簡単に外れます



《取り付け方法》ラジオペンチ等でしっかりとまるまで押し込む



《取り付けの目安》対策部品のツメ(ピンク矢印)をボタン側のくぼみ(青矢印)にはめる

の通り、打ち出された玉はアウトボックスを経由して、ドブへ落ちていき、研磨やクリーニングなどの洗浄をされた後に、補給レールで遊技台へ運ばれるという長旅をします。そんな長旅を経験したにも関わらず、奇跡的に糸が付いたままで現れて一般のお客様がその姿にびっくりして通報して、糸付き玉が回収されるといふパターンが最近多くなった気がします。もちろん一番多いパターンは糸が切れた状態で、穴あき玉や変形玉が見つかるというもので、補給やアウトボックスを糸付き玉が詰まらせてしまうことによる発見パターンもあります。しかし、このいずれの発見パターンでも、データ異常がほとんど出ていないことが不気味なのです。

### 甘デジの特性を 利用して犯行に及ぶ ホールも進化が必要

具体的にはゴト犯を捕まえてみなければわかりませんが、おそらく漠然と糸付き玉を使用しているのではなく、ホールコンピュータのデータ異常アラームが作動しないようにギリギリのところでスタートを回していると思われる。このゴトの初期の頃は、マックスタイプなどのセブン機で犯行が行われていましたが、大当りを引くまでにスタートやベースデータの値が上がり過ぎることによって、データ異常が発生してバレてしまうケースが多かったのですが、最近では甘デジで犯行が行われるケ

ースが多くなり、ここでもゴトが進化していることが見受けられます。甘デジで犯行を行うことのメリットは、大当り確率が99分の1と高いのでデータ異常が発生する前に大当りを引く可能性が高く、また大当り後は短機能の影に隠れてデータ異常が出にくいのです。このようにバレずに、捕まらずに犯行を行えるように、ローテクゴトであっても進化しているのです。以前にも言ったことですが、ゴトが進化しているのだから、それを迎え撃つホール側も進化しなければ対応できないと思います！最前線でゴトと接する可能性があるホールスタッフは、一番ゴト対策の知識が必要だと思っております。実際にはホールの一部の役職者だけが知識を独占しているというパ

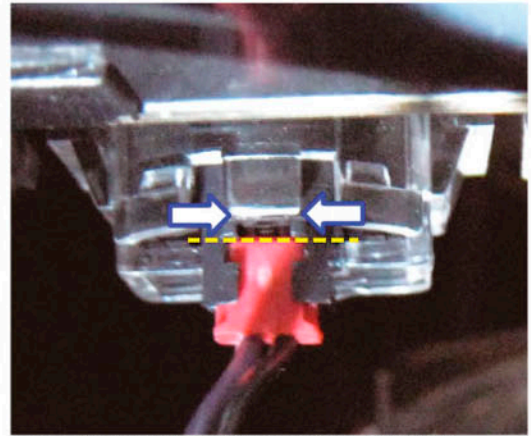
### 不審動作に注意を 糸をほぐす、あやつる テープで糸を止める

糸付き玉ゴトの発見ポイントの1つめは、ポケット等から取り出した糸付き玉の糸をほぐす挙動があるというものです。隠し持っている糸をほぐす作業は一般のお客様と明らかに違う不審な挙動で、この作業する際には、ホールスタッフや周りのお客様にバレたくないという強い気持ちで働いて、逆に挙動不審な行動をとるのが犯罪者心理です。発見ポイントの2つめは、打ち出した糸付き玉を任意の位置に誘導する際に、上皿付近で糸を操るような挙動やテープで糸を止める挙動があるというものです。糸付き玉を停留させるポイントへの位置調整は、とてもシビアで1ミリのズレでワープゾーンへの玉の流れ方が全く変わってきます。そのため上皿付近で糸の長さ調整して、テープなどで固定させる作業は、一般遊技客がしない手の動きや動作になります。このよう



な初期動作で、不審者に気がつくことが理想なのですが、実際にはすぐにゴトだ！と、気がつくことはなかなかありません。ただ、不審な行動を取る人がいる（気になる人がいる）ということにより、ムなどで報告をすることにより、その瞬間から店内は不審者にとって悪いことのやりにくい空間になります。それが重要なのです。

不審者がいるというインカムを聞いた全ホールスタッフが警戒モードになり、モニター室では防犯カメラでのチェックが始まることでしょう。そのような警戒モードを、悪さをする輩は敏感に察知します。その結果、悪さをしないで帰るといふパターンになる可能性が高くなります。話が本題からそれてしまいましたが、自分が糸付



《正しく取り付けけた状態》対策部品の先端とコネクタの間に隙間ができる

最後に弊社が行なっている遊技機の安全確認検査業務において、気になる出来事があったのでお伝えしたいと思います。弊社の遊技機安全確認検査業務において、遊技機に取り付けられた対策部品の取り付けの有無や取り付けた状態のチェックをしておりますが、そ

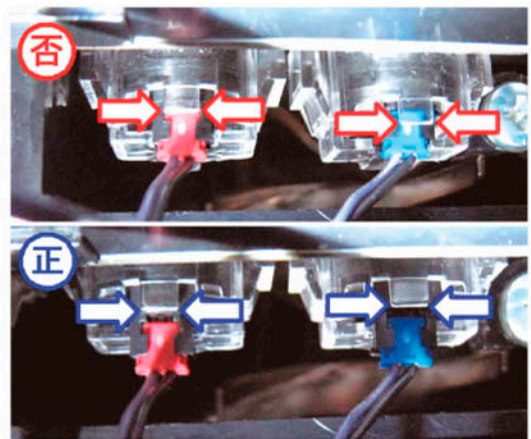


数多く確認される

外れたり、不完全が

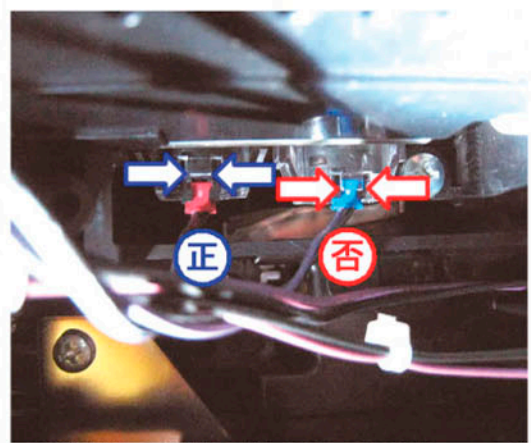
対策部品の取り付け

き玉を使う際に周りからバレないようにする仕草は、どんな仕草なのかを一度考えてみてください。そして、そのような仕草をする人を見かけたら、迷わずインカムなどを利用して報告をしてください！宜しくお願い致します。



《取り付け状況の正否比較①》対策部品の先端部分の高さに注目して下さい

の中で対策部品が完全に外れている、しっかり固定されていないといった状況が数多く確認されております。原因は対策部品の正しい固定具合が分かりにくく、固定できたとおもってもそれが正しく固定できていないことにあるようです。以前より発生している「緑ドン」V I V A！情熱南米編」や「デビルマンⅡ」悪魔復活」などのエレコ製スロットを狙った各種ボタンを取り外してのART誘発ゴトについて、メーカーから提供された対策部品を取り付けていたにも関わらず、対策部品が突破されて被害に遭ったとの情報が相次いでいるのは、もしかすると対策部品がしっかりと取り付けられていなかったことから被害に遭ってしまった可能性ががあります。



《取り付け状況の正否比較②》片方だけ正しく取り付けられているが、片方は正しく取り付けられていない

写真を参考にして、早急に取り付け状況の確認作業を実施してください。宜しくお願い致します。

■高石隆一 ■たかいしりゅういち 警備会社の指導員、セキユリティー会社を経て2003年、有限会社ジャパン・セキユリティー・サービスを設立し代表取締役。札幌方面遊技事業協同組合、札幌遊技業協同組合、札幌遊技業支配人会の顧問を務めるかたわら、パチンコ産業のセミナー講師を数多く務める。北海道警察本部の捜査にも協力している。「一期一会」が座右の銘。



まず確認して  
ラジオペンチの使用  
LEDライトも

せっかく提供された対策部品の効果を無にしないためにも、現在遊技機に取り付けられている対策部品が正しく取り付けられているかの確認をお願い致します。

エレコ製スロットの対策部品に関して、取り付け状況（固定具合）の確認、及び取り付け作業を行う際にはラジオペンチ等を使用して作業を行なってください。作業時には、LEDライト等を使用して取り付け状況を必ず目視確認してください。